



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

済生みと

No. **35**
2019
Summer

特集 眼科の診療をご紹介します

Pickup 慢性腎臓病啓発キャンペーン



写真 当院眼科の診療スタッフ。中央は 加畑 隆通 副院長兼眼科主任部長

私達は 患者さんの悩み、苦しみに共感し
安全に十分に配慮しながら、良質の医療を提供します

総合周産期母子医療センターの役割

水戸済生会総合病院

副院長 兼 総合周産期母子医療センター長

藤木 豊



水戸済生会総合病院の産婦人科は、茨城県立こども病院とともに、総合周産期母子医療センターとして茨城県より指定されています。このセンターの役割についてごく簡単にご説明します。

妊娠や出産は、女性の生涯の中でももっとも大きなイベントのひとつです。その多くは順調に経過し、幸せのうちに完了することが期待されています。一方で、神社で安産祈願をする、戌の日に腹帯を巻く、お七夜で子の無事を祝う、などの風習が今なお続くことは、妊娠分娩の危険が無意識のうちに広く認識されている表れでもあります。ごく最近の統計でも、中央アフリカのある国では産婦さんの100人に1人が分娩で命を落とし、またアジアのある国では産まれた赤ちゃんの100人に4人もが生後早期に亡くなっています。日本は衛生環境も良く、母体の栄養状態も良好で、一次医療施設で良質な医療が提供されることから、母子の危険は相当に少なくなっています。しかしながら現代でも妊娠と分娩に大きなリスクが潜んでいることに変わりはありません。私たちの役割は、母子をこうした危険からお守りする事にあります。

茨城県は全体として広く平らな地形で、居住可能地域が県全域に分布しているため、1つのセンターではとても全体をカバーできません。そこで周産期（お産）の領域では県内を3つのブロック（県央・県北地域、県南・鹿行地域、つくば・県西地域）に分割し、それぞれの地域を水戸済生会、土浦協同病院、

筑波大学が中核病院として担当しています。一次医療機関で対応困難な母体

疾患や、胎児の異常などが認められた場合に、私たち総合周産期母子医療センターを紹介されることになります。また、妊娠中突如として発生する早産兆候や重症の妊娠偶発症、分娩時出血多量などが生じた場合には、救急車での転院となる「緊急母体搬送」で当院にご紹介いただきます。このような緊急搬送は当センターだけで昨年152件の受け入れがありました。私たちのセンターでは産婦人科だけでなく、麻酔科、救急科、循環器科や外科などの一般診療科、そしてこども病院の新生児科、小児循環器科、小児外科などが協力し合うことで、24時間365日、地域の妊産婦様の緊急事態に対応しています。こうした仕組みは医師だけで成り立っているのではなく、センターに勤務する看護師や助産師、緊急検査に対応する検査技師・放射線技師、病棟薬剤師、社会的問題に対応するソーシャルワーカーなど、多くのスタッフの献身的な働きに支えられています。

私たちはハイリスクな妊産婦様だけを診療対象としているわけではありません。当センターでの妊婦健診や分娩をご希望される妊婦様はどなたでもご遠慮なくご来院ください。スタッフ一同喜んでお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



「令和の茶会」で憩いのひととき



5月24日、本館1階ロビーの一角に茶釜や屏風がしつらえられ、茶会が催されました。

この茶会は、当院の職員親睦団体である茶道部が、来院される方にひとときの憩いの場を提供しようという趣旨で開催しているもので、今回は特に「令和」への改元後初の開催となることから「令和の茶会」と名付けられました。

当日は、勤務外の部員7名が奉仕に当たり、お客様となっていたいただいた約150人の方に抹茶の香りと上生菓子のコラボレーションを堪能していただきました。

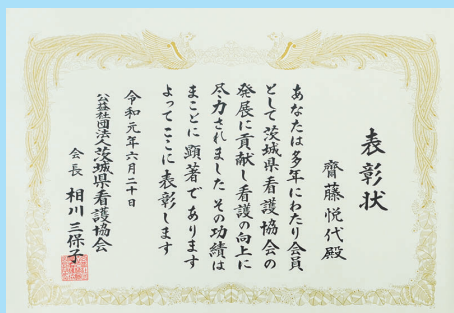
茶道部では、日頃から「裏千家」の先生を招いて稽古に励んでおり、この日はその成果を患者さんやご家族に披露させていただく場とも



なりました。

茶道部員一同、今後もこのような催しを企画開催し、来院される方へのサービス向上に努めていきたいと張り切っています。

優良看護職員茨城県看護協会会長賞を受賞



磯崎登志江 看護副部長（左）と齋藤悦代 看護副部長

6月20日、水戸市内のザ・ヒロサワ・シティ会館（県民文化センター）で開催された令和元年度茨城県看護協会通常総会の場において優良看護職員の表彰式が挙行政され、当院から磯崎登志江、齋藤悦代、

両副看護部長が優良看護職員茨城県看護協会会長賞を受賞しました。

この賞は、多年にわたり看護業務に献身的に従事し、顕著な功績のあった看護職員に贈られるものです。

受賞した当院の両副部長は、「この受賞を励みにさらに看護業務に力を尽くしていきたい」と決意を新たにしていました。

白内障・緑内障・網膜剥離などの治療を中心に 眼科の診療を紹介

リスクを伴う難易度の高い症例にも幅広く対応しています

水戸済生会総合病院

副院長 兼 眼科主任部長 加畑 隆通



はじめに

本院が現在の所在地（水戸市双葉台）へ移転したのは昭和59年ですが、その当時から筑波大眼科から本院へ眼科医の派遣が始まり、現在に至っています。私（加畑）は筑波大出身の眼科主任部長としては6代目となり、平成4年から現在に至るまで、主任部長として診療に携わってきました。

症例数の多い白内障手術

眼科での手術治療は昔も今も白内障手術が大部分を占めています。昨年の本院での白内障手術は562件であり、私が赴任した平成4年からの白内障手術件数の累計は10000眼以上となっています。白内障手術は、多くのクリニックでも日帰り手術で行われていますが、白内障手術の内容はクリニックで受けても病院で受けても、大きな差はありません。病院とクリニックの差は、病院は入院治療が可能であることと、手術にリスクを伴うような症



例や全身の合併症がある患者様をお引き受けする立場であることの2点になります。そのため白内障手術で日帰り手術を希望される患者様で眼科的にも全身的にもリス

クがない場合にはクリニックの先生をご紹介していますし、逆に入院手術を希望される患者様はクリニックから本院に紹介いただいているのが現状です。

機器や術式、眼内レンズの進化でより安全な手術に

白内障手術は短時間で終わるため、簡単な手術だと思われている傾向がありますが、中には手術が難しい患者様がいらっしゃいます。例えば瞳孔の開きが悪い、チン氏帯という水晶体の支持組織が弱い、白内障の高度進行例、角膜の混濁や脆弱、緑内障眼などは難症例の場合があり、手術に時間を要したり、特別な準備が必要であったりします。また片目しか見えない患者様の手術も手術の難易度は別として、術後、眼帯等のため一時的に見えない状態となるため入院治療が望ましい場合が多くなります。

白内障手術は手術器具の進歩や術式の洗練化、眼内レンズの材質の変遷等でより安全な手術になっています。また本院では通常の単焦点の眼内レンズから乱視矯正用や多焦点用（多焦点眼内レンズは先進医療扱いのため一部自費となります）など患者様のニーズ、目の状態にあわせて眼



眼科外来は、1階外来フロアの東南角にあります。本館手術室で行われる麻酔下手術以外のレーザー手術なども外来診療室で施行されます。



眼科で診療に当たっている 湯川 知恵 部長（右）と
高木 星宇 部長（左）



写真は、執刀中の加畑副院長。

上は顕微鏡下での眼瞼下垂手術。

左は硝子体手術（黄斑下出血）。

硝子体手術は、目の中の硝子体を切除して、その下部の網膜の病気を治療する高度な治療法です。当院では、25G（ゲージ）システム（アルコン社製）を採用しているため、患者様の体への負担は極めて少なくなっています。



内レンズを選択しています。白内障は加齢とともに進行し、多くの方が罹患する疾患ではありますが、手術が必要な段階まで進行した場合は手術を怖がらず、積極的に手術治療を希望していただければと思います。

多様な難治性の眼疾患や小児疾患にも対応

白内障手術以外には網膜硝子体手術（網膜剥離、硝子体出血、増殖性網膜症、黄斑上膜、黄斑円孔）、緑内障手術（ろ過手術、流出路再建術）、眼瞼手術（眼瞼下垂、眼瞼内反、眼瞼腫瘍）、斜視手術、涙道手術（内視鏡チューブ留置、涙嚢鼻腔吻合術）角膜手術（角膜移植）、眼窩

手術等、幅広い疾患に対応しています。

また、当院には県立こども病院が隣接しているため、小児疾患も多く、新生児集中治療室（NICU）での未熟児網膜症の管理やこども病院に入院中の患児の眼科検査を行っています。小児の診療は、検査自体も難しく診察も容易ではありませんが、小児の扱いに慣れた視能訓練士や看護師の手助けによって日常の診療をこなしています。小児の手術の場合には全身麻酔が必要ですが、当院の麻酔科医師はこども病院でも麻酔をかけており、小児全身麻酔を安全に受けることができます。

当院眼科の診療実績概況 2018年

入院患者数症例数	712	2002年～2018年の 裂孔原性網膜剥離手術件数 *注	723
手術症例数	927		
手術室	758	初回復位率	88%
外来	169	最終回復位率	96%
蛍光眼底造影検査	24	術式の内容は強膜内陥術 50% 硝子体手術 50%	
黄斑疾患に対する硝子体注射	305		

*注 黄斑円孔網膜剥離、増殖性網膜硝子体症を除く

水戸市内で腎臓病予防の啓発イベントを開催しました

水戸済生会総合病院 血液浄化センター
臨床工学技士 田口 晴子



当院と水戸市の共催により、慢性腎臓病に対する啓発活動イベント、『健診を受けて防ごう慢性腎臓病 (CKD)』を、6月16日にイオンモール水戸内原店にて開催しました。このイベントは2015年から毎年開催しているもので、今年が第5回となりました。

当日は天候にも恵まれ、会場は終日大いに賑わいました。午前と午後の市民公開講座をはじめ、医師による健康相談、栄養士による栄養相談、臨床工学技士による透析装置の展示やむくみの測定、看護師の禁煙相談・フットケア・血圧測定、理学療法士による筋力測定、臨床検査技師による血管年齢測定などのコーナー

では、部門によっては待ち時間が30分以上になってしまうほどでした。延べ500人近い来場者の皆さんからは、「勉強になりありがとうございました (80代女性)」、「自分の健康状態が分かってよかった (70代女性)」、「会社の健康診断でやらないものがあって面白かった (20代女性)」、などといった感想が寄せられ、好評をいただきました。

今後も日頃の啓発活動に加え、このイベントを通して、腎臓病の予防・早期発見・早期治療に結びつくように活動を継続していきたいと思います。



市民公開講座として開かれたオープンスペースでの講演会。
上：当院副院長兼血液浄化センター長の海老原至医師。
左：当院栄養科の島田千賀子管理栄養士

この日の催しに、当院からは生澤義輔病院長はじめ各職種のスタッフ多数が参加し、相談、展示、PRコーナーなどの運営にあたりました。



上：開会セレモニーでは高橋 靖 水戸市長にご挨拶いただきました。

左：血管年齢測定コーナーもすっかりおなじみに。



上：足のむくみ測定や各種の展示コーナーにも多くの人が。
右：腎臓内科の専門医師が多数の方からの相談に応じました。



『Heart-full Brain with Smile』

水戸ブレインハートセンターは水戸市青柳町に平成 21 年にオープンし、おかげさまで今年の 12 月で 10 周年を迎えます。病院名の通り主に脳（ブレイン）と心臓（ハート）の疾患を治療しておりますが、専門病院としての役割を担いながらも皆様に幅広く受診いただけるように“専門性は高く＆敷居は低く”をモットーとして日々の診療に取り組んでいます。

近年、検査機器や治療法の進歩によって脳卒中や心疾患の死亡率は低下してきていますが、それでもまだ脳と心臓の病気は日本人の死因の上位にランクアップされています。そして、この二つの病気は原因に共通する部分も多いため、どちらも合わせて治療を実施したり予防を心がけたりすることが大切です。そこで当センターでは、脳卒中と心疾患の専門医が協力体制で診療にあたり、熱意ある看護師や技師、職員達が MRI などの検査機器や手術室・リハビリ室などの設備を駆使して治療をサポートしています。また、受診や通院の利便性を向上させるため、北は常陸太田市にブレインピア南太田、南は茨城町にブレインピア桜ヶ丘、東はひたちなか市にブレインピアひたちなか、そして少し離れますが埼玉県坂戸市にはブレインピア坂戸西などのクリニックを併設し、カルテや画像の情報を共有しながら診察の機会を広げています。さらに、当センター

を含めた各施設の外来には「マルチブースシステム」を導入し、それぞれの診察室に専任の医療秘書を配置しながら医師が効率よく巡回することで待合時間の短縮にも努めています。



医療法人 桜丘会

水戸ブレインハートセンター

院長 畑山 徹 先生

私たちスタッフ一同、今後も脳と心臓のセンター病院を目指して地域医療の推進に従事して参りますが、そのためには水戸済生会総合病院を始めとする多くの施設の皆様と強い連携と信頼を築いていくことが大切だと心に刻んでいます。そして、診療を受けて下さる皆様も含めて、全ての方々に思いやり、知識、そして笑顔を提供できるよう“Heart-full brain with smile”の理念を発揮していきたいと気合を高めています！

診療科目 脳神経外科・循環器内科・心臓血管外科

麻酔科・リハビリテーション科・放射線科

〒310-0004 水戸市青柳町 4028

電話 029-222-7007 FAX 029-222-7008

ホームページ <http://www.mito-bhc.com/>

診療時間

【午前】 9 時～11 時 30 分（受付：8 時～11 時 30 分）

【午後】 13 時～16 時（受付：11 時 30 分～16 時）

休診日 土曜日、日曜、祝日／年末年始（12/30～1/3）

* 緊急・急患は 24 時間受付体制をとっております。

水戸済生会総合病院では連携医療機関の先生方との
合同症例検討会を開催しています

■ 30 年 8 月～10 月の予定 8 月 7 日（水）、9 月 11 日（水）午後 7 時 15 分開会、10 月 2 日（水）

会場：当済生会新館 5 階 丹野ホール

日時：原則、毎月第 1 水曜日（1 月・5 月休会）、毎回午後 7 時に開会します。

内容： 1 当院医師による症例発表と意見交換
2 当院医師及び外部講師によるミニ講演

* この検討会に出席された方には生涯教育講座参加証を発行しています。

参加についてのお問い合わせは → 当院 地域医療連携室 まで 029-254-5151（病院代表）

外来診療のご案内

◆ 令和元年 7 月 1 日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科 受付 (8:30 ~ 11:30)	初診	1 診	青木 (消化器)	郡司 (腎臓)	荷見 (腎臓)	千葉 (循環器)	佐藤 (腎臓)
		2 診	柏村 (消化器)	金野 (消化器)	大川原 (消化器)	高橋 (消化器)	宗像 (消化器)
		3 診	樋口 (循環器)	山田 (循環器) 午後: I C D (循環器)	川原 (循環器)	大平 (循環器)	大津 (循環器)
		4 診	午後: 腹膜透析外来 (再)	午前: 武田 (神経) 午後: 腹膜透析外来 (再)		第 4 川上 (代謝内科) 午後: 青沼 (不整脈外来)	樋口 (循環器) 再診
	再診	1 診		仁平 (消化器)	第 2・4 は午前のみ 高橋 (消化器) 第 2・4 午後 渡辺 (消化器)	午前 大川原 (消化器)	柏村 (消化器)
		2 診	午前: 山田 (循環器) 午後: 藤沼 (循環器)	長山 (血液) 再来のみ	午前川松 (ACHD 外来) 午後會澤 (循環器)	午前 石垣: (代謝内科) GDM (産科複発患者のみ)	長山 (血液) 再来のみ
		3 診	第 3 午後 堀米 (循環器) (ACHD 外来)	午後 大津 (循環器)	午前 金野 (消化器)		午前 川原 (循環器)
		4 診	午前: 中山 (消化器)	午前: 青木 (消化器)	仁平 (消化器)	午前: 宗像 (消化器)	萩原 (膠原病)
		循環器内科		大平 (循環器)	千葉 (循環器)	石橋 (循環器)	午後: 青沼 (不整脈外来)
				第 1・3 午前村田 (循環器)			
		腎臓内科	黒澤 (腎臓)	椎名 (腎臓)	海老原 (腎臓)	佐藤 (腎臓)	郡司 (腎臓)
	外科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前		高久 春日	田野井	高久・東 高久	東 東
		午後	予約制			第 2・4 禁煙外来	
心臓血管外科 呼吸器外科 受付 (8:30 ~ 11:30)		1 診	倉持	倉岡	篠永	(休診)	三富
	特診					第 2・4 筑波大学 呼吸器外科 教授 佐藤 幸夫	
小児科 受付 (8:30 ~ 11:30) 予約は慢性疾患のみ	午前		内谷	肥田	内谷	肥田	
	午後			(予約制) 健診受付 (14:00 ~ 14:30) 予防接種 (14:30 ~ 15:00)	内谷 (予約制)		内谷 (予約制)
整形外科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	1 診	秋山	星	島田	捧	佐藤
		2 診	捧	木村	佐藤	星	島田
		3 診	野村	生澤	野村	秋山	生澤
	初診は紹介状持参の方、当院で入院・手術をされた方、1 年以内に当院全科で受診歴のある方のみ。						
	午後	専門外来 生澤 (関節外科)			野村 (脊椎外科)		
	午後は 15:00 ~ 16:00 まで。いずれの曜日も予約制。						
形成外科 受付 (8:30 ~ 11:30) 午後 (15:00 ~ 16:00)	午前	初診	手口	藤田	第 1.3.5 藤田 第 2.4 佐々木	藤田	手口
		再診	芳賀	芳賀 (第 4 中山)			芳賀
	午後	手術	手術	藤田 (再診のみ)	手術	手術	手口 (再診のみ)
脳神経外科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前	1 診	森	森	井口	佐浦	森
		2 診	井口			井口	山田
皮膚科 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前		神崎・高向	神崎・高向		神崎・高向	神崎・高向
	午後		予約	予約		予約	予約
泌尿器科	午前	1 診	池田	宮永	山口	宮永	宮永
		2 診		福原	福原	山口	
	受付 月・金曜日 (8:30 ~ 10:30) 火・水・木曜日 (8:30 ~ 11:00)						
産婦人科 受付 (8:30 ~ 11:00)	午前	初診予約外	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師	担当医師
		産科	加藤	佐々木	山田	人見	中村
		婦人科	島・中村	益田	加藤	東・山田	佐々木
	午後	産科①	遺伝・NIPT	母乳・産褥外来	母乳・産褥外来	遺伝・NIPT	母乳・産褥外来
		産科②	母乳・産褥外来	自己血貯血	東	胎児	1 ヶ月健診
		専門外来 1	藤木	益田	人見	胎児	1 ヶ月健診
	専門外来 2	佐藤	自己血貯血	自己血貯血予備日	胎児	1 ヶ月健診	
眼科 受付 (8:30 ~ 11:30)	午前		加畑	加畑	田崎	加畑	村上
				高木		高木	高木
			湯川		湯川		湯川
耳鼻咽喉科	午前 (8:30 ~ 11:00)		菅野	田中	松下	宮部	宮部
	午後 (14:00 ~ 15:30)		菅野	田中	松下		宮部
ペインクリニック 受付 (8:30 ~ 10:30)	午前		熊田	前田	大久保		奥山
初診は、紹介状持参の方、当科 1 年以内に受診のある方のみ。							
歯科口腔外科	午前 (8:30 ~ 11:00)		武内・高橋	武内・高橋	武内 (第 1.3.5)・高橋	佐藤・高橋	武内・高橋
	午後 (13:30 ~ 15:00)				武内・高橋	佐藤 (予約のみ)	
放射線科	血管内治療	予約制				遠田 (不定期)	
	放射線治療			橋本		唐澤 (不定期)	
緩和ケア	14:00 ~ 16:00 (完全予約制)			吉村	吉村	吉村	吉村
		(予約制) 予約は緩和ケア外来 → 病棟 電話 029-254-9165 (直通) まで					

■ 専門科の救急対応、緊急手術などにより、担当医師・診療時間を予告なく変更する場合があります。

■ 診療についての詳細は当院ホームページをご覧ください。 (<http://www.mito-saisei.jp>)